

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1961
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.54, No.6 (1961. 6)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19610601--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾経済学会

三田学会雑誌

1961年 6月号

論 説

- 江戸時代経世済民論の一考察……………島崎隆夫 1
 ——林子平の「富国」策を中心として——
 第一次大戦後の農業恐慌の性格(下)……………常盤政治 17
 ——一般的危機第一段階における農業恐慌の分析(一)——

資 料

- 明治社会主義史料にあらわれた外国社会主義運動……………飯田 鼎 39
 ——「直言」を通じてみた——
 村の細民——十七世紀フランス農業史研究の一齣……………渡辺國廣 46

書 評

- 荒畑寒村著『寒村自伝』……………飯田 鼎 57
 全国農業協同組合中央会編『共済事業の理論と実務』……………庭田範秋 60
 エリザベス・アイゼンシュタイン著
 『最初の職業的革命家、フィリップ・ミケル・
 ブォナロッチィ (1761~1837) ——伝記的評論——』……………野地洋行 65
 E. S. P. モン共著『大都市シカゴの経済分析』……………高橋潤二郎 69
 Z. G. ビルビヤ

新刊紹介

経済学会報告(昭和35年度)
昭和36年上半年総目次

54巻 **6**号

昭和25年10月13日
昭和26年2月1日
昭和36年5月1日
発行(毎月1日)

昭和25年10月13日
昭和26年2月1日
昭和36年5月1日
発行(毎月1日)

三田学会雑誌

昭和三十六年五月号

定価 金九〇円 (送料別)

MITA GAKKAI ZASSHI

(Mita Journal of Economics)

Vol. 54, No. 5

May, 1961

CONTENTS

- Social Policy and the Structure of Living……………*M. Chūbachi* 1
 An Analysis of the Agricultural Crisis
 after the First World War (1)…………… *M. Tokiwa* 8
 Some Economists of the Classical School
 on the matter of Geographical Aspects
 of Economic Activities…………… *J. Takahashi* 35
 Note
 A Note on the Creditform…………… *H. Iida* 50
 Survey of Academic Circles
 On Recent Studies of Public Finance…………… *M. Oshima* 62
 Book Reviews
 Morichika Umpei—Thought and Behaviour
 of the Most Pathetic Victim of the Case
 of High Treason, 1961, by Kin-ichi Yoshioka…… *K. Iida* 70
Laboureurs: A Regional Example…………… *K. Watanabe* 73
 The Mechanism of Agriculture in Japan,
 by Moritaro Yamada…………… *M. Terao* 79
 La Mettrie's L'homme Machine,
 by Aram Vartanian…………… *H. Noji* 81

Published for

KEIO-GIJUKU KEIZAI GAKKAI

(The Keio Economic Society)

Editorial communications to be sent to
the Editor, Keio-Gijuku Keizai Gakkai,
Keio University,
Mita, Minato-ku, Tokyo, Japan.

Price 90 yen

新刊紹介

- J. O. リマースマ『マックス・ウェーバーの
《プロテスタンティズムの倫理》をめぐって』…渡辺國廣 75
- ソエントロサユーズ編『ソ連邦の協同組合』……………平野絢子 76
協同組合経営研究所訳
- ウォールド著『需要分析』……………西川俊作 76
森田優三監訳
- 片山謙二著『世界貿易の発展
——発展過程の実証的分析——』……深海博明 77
- 日本生産性本部生産性研究所編『消費革命とレジャー産業』…佐藤保 79

江戸時代経世済民論の一考察

——林子平の「富国」策を中心として——

島崎隆夫

江戸時代に生成・発展した「経済」思想の史的考察を試みる場合、
わたくしは「経世家」の諸思想の中に散見しうる「富」および「富
国」に関する諸観念や、「富国」のための諸政策に注目し、それを一
つの手掛りとして「経済」思想を検討して行く事が問題を解く上に
多くの糸口を得る結果になると考える。

「富」とは、一般的にみて、ある歴史的社会的生産関係の基底に存在
し、その社会の歴史的性格を決定している基本的な生産手段および
生産物の占取の仕方に関連して成立する観念である。^(註一)封建制の下に
あっては、何よりもまず第一に「土地所有」が剰余労働（剰余生産
物）を封建的「地代」として経済外的強制によって収取する基本的
関係が存在する事から、「土地」Ⅱ「富」という観念が発生した。それ
と同時に、一定の経済的發展（商品流通の一定の發展）を前提として、
いわゆる「前期的資本」が「土地所有」と共存し、「前期的資本」は「土

江戸時代経世済民論の一考察

地所有」がまず収取した封建的地代の一部を、その特定の量を貨幣の
形態で前期的「利潤」として吸収するに至った。かかる事態より「前
期的資本」の下に蓄蔵された、またそのものとして作用させられた
貴金屬貨幣としての「財宝」を人々は「富」の一形態として、「財
宝」Ⅱ「富」として観念する。この事實は、封建制下における「経済」
思想家の頭脳に、それは極めて複雑であり、また不明瞭な形態では
あったが、「土地」Ⅱ「富」、「財宝」Ⅱ「富」という観念を展開させた。
かかる「富」観から「土地」はその上における産業としての「農業」
を、「財宝」はそれをもちきたらすものとしての「商業」を、「富」を
獲取する手段として重視する観念や、また「財宝」は「土地」よりその
分前を奪取するものとして考えられることから、「商業」は「農業」
の側から軽視され、拒否される観念をも生じた。封建制下における
「富」および「富国」の観念は、封建経済の推移Ⅱ資本主義社会の
生成と共に、やがて新しい「富」および「富国」の観念へと変質をうけ
て行くと同時に、「富国」の政策も自らその内容を変化して行った。